



Unified Communication Operations ダッシュボードの概要

この章では、次の内容について説明します。

- [Unified Communication Operations ダッシュボード \(1 ページ\)](#)

Unified Communication Operations ダッシュボード

この項の内容は次のとおりです。

Unified Communication Operations Dashboard の概要

Unified Communication Operations Dashboard (UCOD) は、複数の PCA ノードから統合されたすべてのクラスタ情報を収集します。最大 10 個のレスポンドをサポートしています。UCOD は、1 つの特定のマスター サーバに登録されているさまざまな PCA サーバから、重要なアラートなどのクラスタ情報を収集します。つまり、各 PCA はレスポンドであり、マスターと呼ばれる 1 つのノードと通信します。

PCA ノードにマスターをインストールすると、同じ PCA ノードにレスポンドをインストールできる、またはインストールできない場合があります。マスターは、対応するマスターに登録された複数のレスポンドからのクラスタ情報を示します。

PCA へのレスポンドのインストール

PCA にレスポンドをインストールすると、[UC 運用ダッシュボード (UC Operations Dashboard)] メニューが表示されます。マスターとレスポンド (オプション) を同じ PCA サーバにインストールすることも、レスポンドのみを別の PCA ノードにインストールすることもできます。

[UC 運用ダッシュボード (UC Operations Dashboard)] タブをクリックし、次のサブメニューを探してください。

- a) UCODランディング (UCOD Landing) ページ: マスターが正常に登録されなければ、ランディングページは表示されません。マスターが登録されていない場合は、それを伝えるエラーメッセージがユーザに表示されます。
- b) レスポンダの設定 (Responder Settings) ページ: マスターをレスポンダに登録します。

次のタスク

[UC 運用ダッシュボードの起動 \(2 ページ\)](#)

UC 運用ダッシュボードの起動

マスター IP アドレスを登録して、[UC Operations Dashboard] タブから UCOD ランディングページのサブメニューに移動します。



- (注) マスター IP アドレスを登録していない場合、「UC Operations Dashboard のマスター IP アドレスが正しく登録されていません。マスターを[レスポンダ設定ページ (Responder Settings Page)] のレスポンダに登録してください」というエラーメッセージが表示されます。

マスター IP アドレスの登録

PCA にログインします。

[UC 運用ダッシュボード (UC Operations Dashboard)] に移動して、[レスポンダ設定 (Responder Settings)] をクリックします。

[UCOD マスターノード (UCOD Master Node)] フィールドにマスター IP アドレスを入力します。

[有効化 (Enable)] をオンにし、[適用 (Apply)] をクリックします。

登録が完了したら、[レスポンダ設定 (Responder Setting)] ページにアクセスして、マスターをレスポンダに登録します。

手順

- [UC 運用ダッシュボード (UC Operations Dashboard)] タブをクリックすると、[UCOD ログイン (UCOD Login)] ページが表示されます。
- ユーザ名に **globaladmin** (小文字) と入力し、PCA のパスワードと同じパスワードを入力すると、UCOD のランディング ページが表示されます。
- ユーザ名には **globaladmin** 以外は入力できません。「ユーザ名またはパスワードが無効です。もう一度入力してください」というエラーメッセージが表示されます。

次のタスク

[Unified Communication 運用ダッシュボードのランディング ページ](#)

Unified Communication Operations のランディングページ

このページには、次のフィールドで示されたとおり、Unified Communication Manager クラスタの情報で構成されています。

フィールド	説明
UCM クラスタ	Cisco Unified CM クラスタの名前（VCS クラスタはサポートされていません）。
クリティカル アラート	指定したクラスタのクリティカル アラート数を表示します。
CPU 使用率（平均、ピーク）	指定したクラスタの一部であるすべてのノードの平均およびピークの CPU 使用率に基づき、CPU 使用率に関する情報を表示します。
仮想メモリ（平均、ピーク）	重大度を基にした、指定したクラスタの一部であるすべてのノードの家臣マシンの平均およびピークの使用率に基づき、仮想メモリに関する情報を表示します。
ディスク使用率（平均、ピーク）	指定したクラスタの一部であるすべてのノードの平均およびピークの ディスク使用率に基づき、ディスク使用率に関する情報を表示します。
コール（試行数 + 完了数）	指定したクラスタで、試行および完了したコール数を足した数を表示します。
未登録のエンドポイント（%、実際値）	指定したクラスタで登録されていないハードおよびソフトエンドポイントの割合と、このクラスタ内で登録されていないエンドポイント数の実際値を足した数を表示します。値を示すシンボルは、重大度を表しています。
未登録のゲートウェイ（%、実際値）	指定したクラスタで登録されていない MGCP ゲートウェイ数の割合と、このクラスタ内で登録されていないエンドポイント数の実際値を表示します。値を示すシンボルは、重大度を表しています。
未登録のメディアリソース（%、実際値）	指定したクラスタで、登録されていないメディアリソース数の割合と、このクラスタ内で登録されていないエンドポイント数の実際値を表示します。値を示すシンボルは、重大度を表しています。



- (注) CPU 使用率（平均、ピーク）、仮想メモリ（平均、ピーク）、ディスク使用率（平均、ピーク）には値に対して記号が付いており、これらの値は重要度に基づき並べ替えられています。

上記のすべてのフィールドには、値に対していくつかのシンボルが付けられており、これは**重大度**を表します。

これらのシンボルの上にマウスのカーソルを合わせると、それぞれの[しきい値の条件 (Threshold Criteria)]を読み取ることもできます。

これらのホバーメッセージの内容は、[しきい値設定 (Threshold Settings)] への変更に応じて適宜変更されます。

シンボルおよびホバーメッセージの説明は、次のとおりです。

記号

1. 赤いクロス - クリティカル
2. 黄色の三角形 - 警告
3. 緑色の丸チェック - 情報

ホバーメッセージ

1. 0~50%（含む）のしきい値
2. 50~70%（含む）のしきい値
3. 70%を超えるしきい値

UCOD ランディングページの設定の下にあるサブメニューにアクセスする方法

下のサブメニューを表示するには、UCOD ランディングページの右上隅にある[設定 (Settings)] アイコンをクリックします。

1. [しきい値設定](#)
2. [システム設定](#)